

気仙沼土木復旧・復興だより

第14号

平成27年10月16日発行 宮城県気仙沼土木事務所



龍の松（岩井崎）

◆ 災害復旧事業の進捗状況

- 災害復旧事業の**着手率**は、本年9月末現在で、箇所ベースで**約94%**、金額ベースで**約81%**となっています。
- 道路・橋梁施設については、全箇所の**約94%**に着手し、**約77%**が**完了**しております。
- 河川・海岸施設については、**沖ノ田川**（気仙沼市本吉町）**荒谷前地区海岸**（気仙沼市唐桑町）などの進捗を図るとともに、新たに、**伊里前川**（南三陸町歌津）の**本格復旧に着手**しました。
- 今後も、**地権者等関係者の皆様の御協力を得ながら**、用地買収を進めるとともに**本格復旧工事の進捗を図り**、復旧を推進してまいります。

◎箇所数ベース(平成27年9月末現在) (単位:箇所)

	全体	事業中	着手率	
			うち完了	
道路・橋梁	125	118	96	94.4%
河川・海岸	54	51	6	94.4%
港湾関係	11	10	3	90.9%
合計	190	179	105	94.2%

※事業中には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

◎事業費ベース(平成27年9月末現在) (単位:億円)

	全体	事業中	着手率	
			うち完了	
道路・橋梁	94.9	52.8	10.4	55.6%
河川・海岸	1,730.0	1,439.5	2.1	83.2%
港湾関係	110.5	74.5	11.7	67.4%
合計	1,935.4	1,566.8	24.2	81.0%

※事業中には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

※全体事業は、現時点の事業費としている



工事が進む災害復旧箇所



荒谷前地区海岸(気仙沼市唐桑町荒谷前地先)



【着手前】



【H27.9月現在】



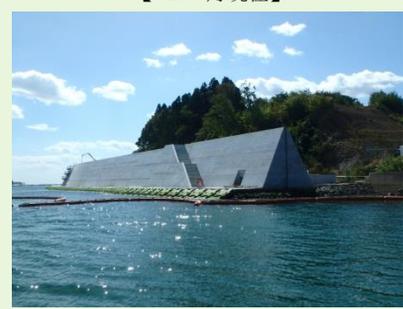
沖ノ田川(気仙沼市本吉町地内)
【H27.9月現在】



桜川(南三陸町歌津地内)
【H27.9月現在】



片浜地区海岸(気仙沼市松崎前浜地先)
【H27.9月現在】

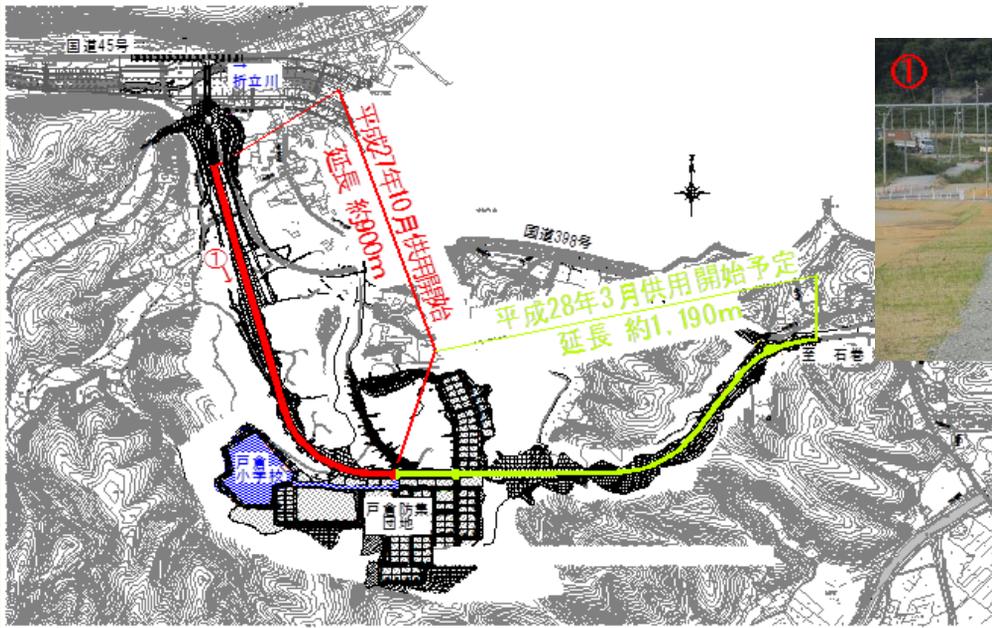


◆国道398号「戸倉復興道路」が一部供用開始しました

南三陸町戸倉地区において、戸倉小学校や防災集団移転促進事業による高台団地へのアクセス道路として整備を進めている、国道398号「戸倉復興道路」の一部区間約900mが完成し、10月4日（日）の「戸倉小学校」の落成に先立ち、10月2日（金）午後3時より、一部供用を開始しました。

未供用区間約1.2kmについても、平成27年度末の供用開始を目指し、今後とも整備を進めていきます。

なお、現地では、工事が続いていることから、通行される皆様へ、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、御理解、御協力をお願いいたします。



一部供用後の状況

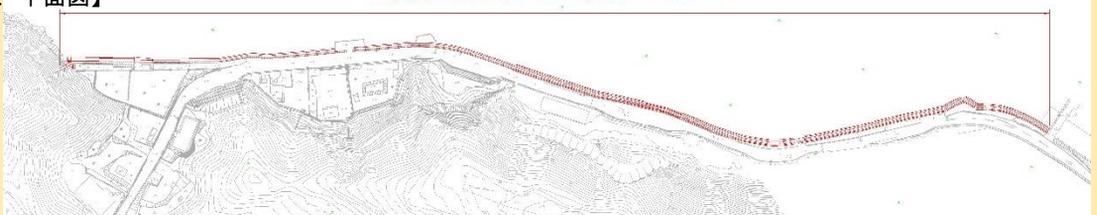
◆気仙沼港小々汐地区の護岸工事が始まります

気仙沼管内の港湾災害復旧工事は、気仙沼港及び御崎港合わせて11箇所あり、そのうち10箇所については着手済（うち3箇所は完了済）となっておりますが、気仙沼港小々汐地区が未着手でした。小々汐地区の計画については、このたび国との協議が整い、7月に地元説明会を開催したところ了解を得られたことから、工事の発注をおこなったところです。

工事中は、周辺の道路の通行規制などご不便をお掛けしますが、工事への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

【小々汐地区 平面図】

既存護岸改良区間（沈下戻し） L=515.3m



【小々汐地区 現況】



◇ 只越川でカンキョウカジカを移植しました

平成27年7月1日（水）に、只越川河川災害復旧工事における自然環境配慮の取組として、「カンキョウカジカ」の移植作業を行いました。

災害復旧工事による「カンキョウカジカ」への影響を極力回避するために、工事着手前に実施したもので、宮城県環境アドバイザーの高取先生（仙台市科学館）・棟方先生（宮城教育大学）からの指導・助言をいただきながら、県庁河川課，気仙沼土木事務所，環境調査委託業者の職員により，工事区間より上流側の生息適地へ放流しました。

移植作業は，タモ・サデ網を使い魚体を痛めないように捕獲し，エアポンプを設置した水槽にて運搬するなど細心の注意を払いました。

今回，約2,300個体を移植することができましたが，工事着手後は産卵期等に配慮した工事計画を立て，定期的なモニタリングの実施を行います。

今後とも，自然環境に配慮しながら工事を進め，早期復旧・復興に努めてまいります。



移植作業の様子



上流側へ放流の様子

カンキョウカジカとは？

宮城県レッドリストの絶滅危惧Ⅰ類に該当し，体側に特徴的な円形の斑紋が散在する魚類。太平洋側では北海道から北東北が分布域とされ，その南限が気仙沼市唐桑町の只越川であり，県内唯一の生息地。



◇ 気仙沼「海の市」で復旧・復興パネル展を開催しました

気仙沼市の観光の総合拠点である「海の市」において，8月1日（土）から8月31日（月）までの1ヶ月間，被災地観光客をターゲットとして，これまでの復旧・復興まちづくりの進捗状況を紹介するパネル展を開催しました。今後とも，復旧・復興等の進捗状況を広く情報提供していきます。



「大島架橋事業 復興アルバム（定点写真）」を公表しています

復興のシンボルである「大島架橋事業」は、架橋本体（アーチ部）の工場製作（三重県津市）をはじめ、架橋へのアクセスルートにある道路改良及びトンネルの工事を進めています。

この度、事業の整備状況を発信するため「大島架橋事業 復興アルバム（定点写真）」を当事務所ホームページにて定期的に公表することとしました。本事業は、平成30年度完成に向けて着実に進捗しておりますが、この復興アルバム（定点写真）を通じて復興の足跡を残すとともに、工事の進捗をより実感していただければ幸いです。

【8月公表写真の一例】



気仙沼市防集事業 大浦地区付近



小々汐漁港付近



架橋工区(大島から本土を望む)

「大島架橋事業 復興アルバム」は、次のURLでご覧になれます。
また、検索から該当ページにアクセスできます。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/osihmakakyo-album.html>

大島架橋事業 復興アルバム

検索

大島架橋事業の工事現場見学会が開催されました

大島側で整備を進めている3つのトンネル（乙姫1, 2, 3号トンネル）と気仙沼大島大橋（愛称：鶴亀大橋）の架橋にむけて工事が進む橋台部の現場見学会が、大島架橋促進協議会及び気仙沼大島架橋促進期成同盟会の主催により開催されました。



参加者の皆様による記念撮影

当日は、気仙沼市や施工会社の協力のもと大島在住の皆様など180名以上が参加され、事業の進捗状況や現場の雰囲気を感じていただくことができ、大盛況のうちに終了しました。

今後もこのようなイベントなども開催しながら、事業を推進してまいりますので、引き続き御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



宮城県土木部

宮城県気仙沼土木事務所 企画担当チーム

TEL: 0226-22-2622

E-mail: ksdbk@pref.miyagi.jp

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>

※お気付きの点やご意見などがありましたら、何なりとご連絡下さい。

※今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。